

2022年度 慶應義塾大学 文学部 日本史

【Ⅰ】

- (イ) A:3 B:6 C:8 D:9
(ロ) E:0 F:1 G:8 H:9
(ハ) I:1 J:4 K:0 L:8
(ニ) M:2 N:0 O:8 P:4

【Ⅱ】

- (イ) A:0 B:8 C:5 D:6
(ロ) E:4 F:8 G:2 H:6
(ハ) I:9 J:3 K:0 L:7
(ニ) M:4 N:2 O:1 P:3

【Ⅲ】

- A 本朝通鑑 B 彰考 C 保科正之
D 閑谷 E 若衆 F 談林
G 町人 H 浮世

【Ⅳ】

- 1 沙石集 2 来迎 3 往生要集 4 御霊会
5 早良親王 6 福原京 7 嵯峨天皇 8 慶滋保胤
9 白河
10 自らを院として院庁を開き、天皇を後見しながら政治の実権を握る院政とよばれる政治体制をとり、上皇や上皇の建てた寺院のもとに寄進された荘園や、知行国としての公領から収益を得る荘園公領制が経済基盤となった。(100字)

【V】

1 (1)黒田清隆 (2)薩摩藩

2 フランス

3 工女

4 内務省

5 三井

6 官営模範工場として設立することで、輸出の中心となっていた生糸の生産を拡大し、貿易赤字の解消を目指していた。また、それだけでなく、民間工業の近代化を図り、フランスの先進技術の普及と工女の養成も政府の狙いであった。(105文字)